

決算説明会資料

平成20年3月期

第1四半期

開催日：2007年8月20日（月曜日）

証券コード：3753

株式会社フライトシステムコンサルティング



平成20年3月期
第1四半期
業績概況

連結業績ハイライト

連結経営成績

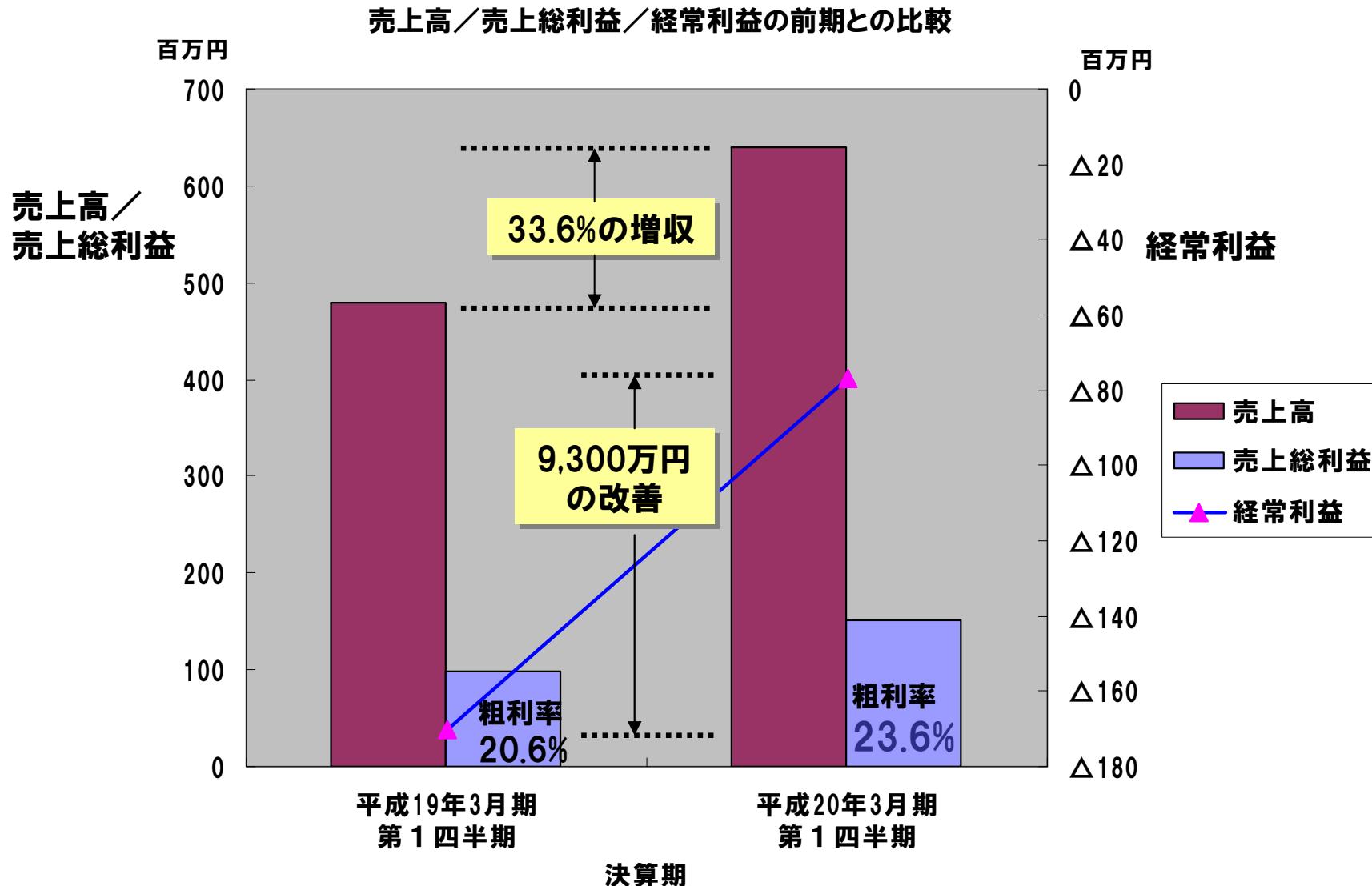
(単位:百万円)

決算期	平成19年3月期 第1四半期	平成20年3月期 第1四半期	増収率
売上高	479	640	33.6%
システムコンサルティング事業	64	175	175.4%
システムインテグレーション事業	78	133	70.5%
放送・映像システム開発・製造・販売事業	240	169	-29.6%
放送・映像システム保守事業	97	162	67.3%
売上総利益	98	151	53.4%
営業利益	△158	△67	
経常利益	△170	△77	
当期純利益	△169	△84	

※ 平成19年3月期実績につきましては、セグメントがメディアソリューション事業とシステムインテグレーション事業の2つでしたが、より事業の実体に即して解りやすくするため「システムコンサルティング事業」、「システムインテグレーション事業」、「放送・映像システム開発・製造・販売事業」、「放送・映像システム保守事業」の4つに分けました。

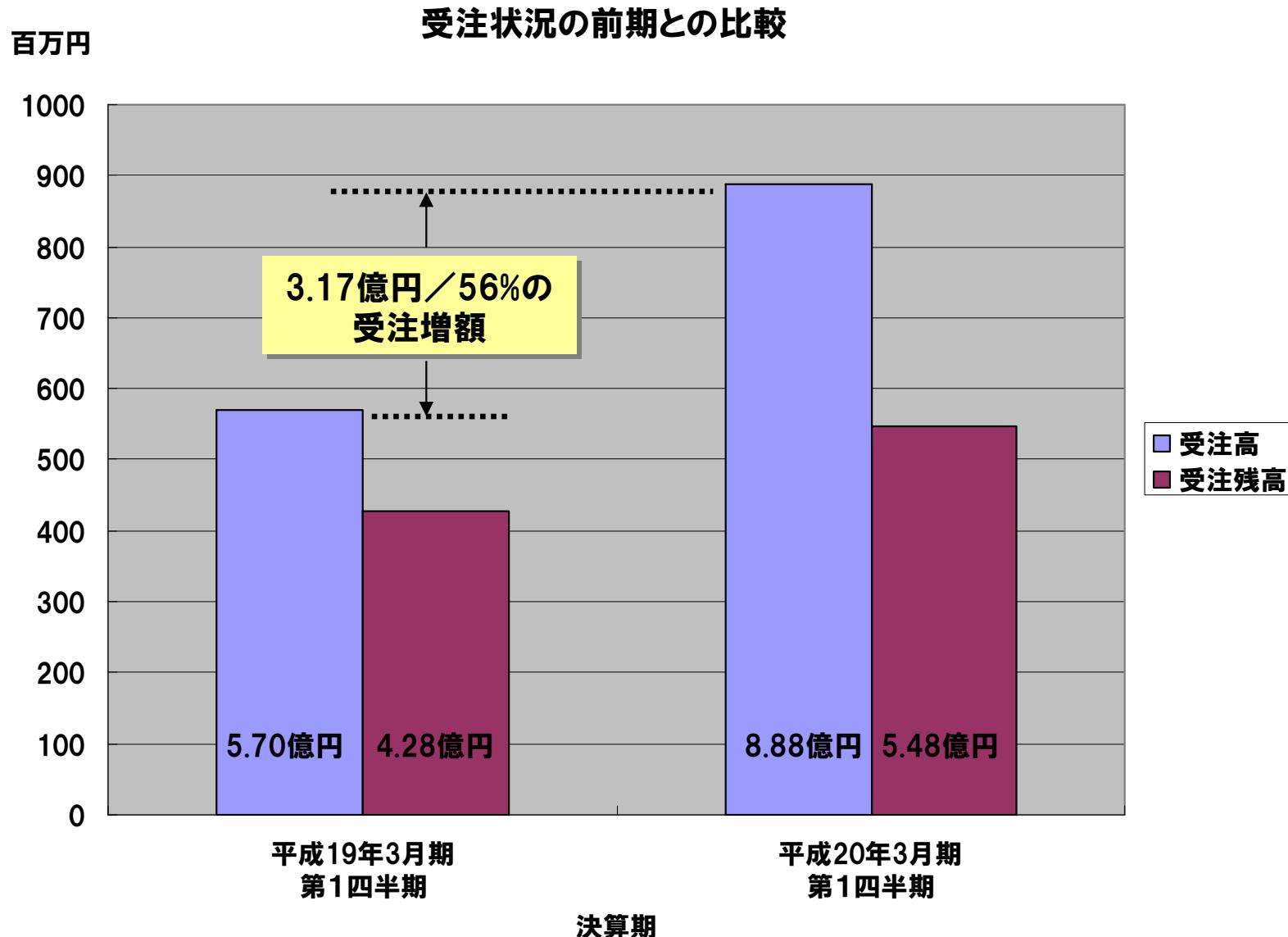
～前期からの大きな前進！（1）～

33.6%増収、粗利率3%改善、9,300万円の収益改善



～ 前期からの大きな前進！（2）～

3.17億円／56%の受注増額！

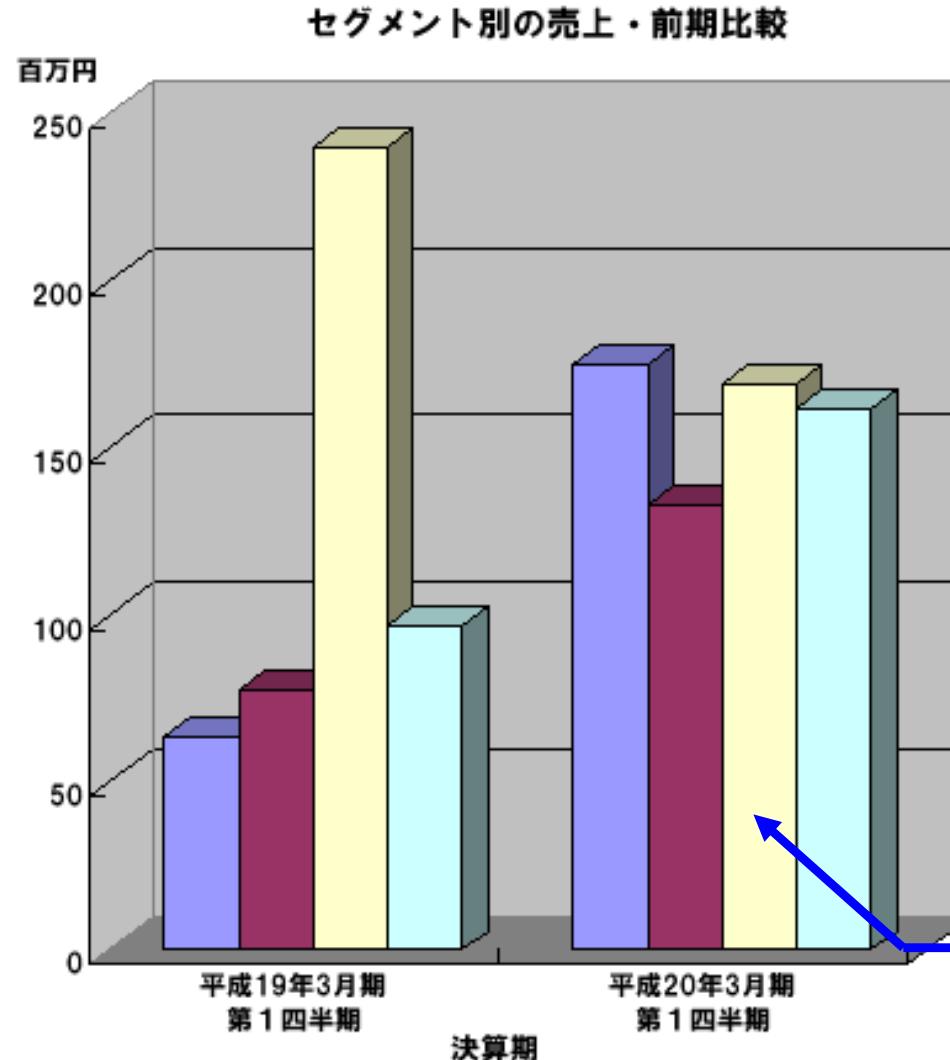


～前期からの大きな前進！～

4セグメント中、3セグメントが大きく増収に！



連結経営の実質2期目。コンサルティング・システムインテグレーション・保守の各事業で、大幅な増収となり、業績は堅調に伸びています。



- システムコンサルティング事業
- システムインテグレーション事業
- 放送・映像システム開発・製造・販売事業
- 放送・映像システム保守事業

※大型のOEM製品が8月からの出荷である事、7月1日の連結子会社2社の合併に伴う手間などの影響。

連結業績概況 ~ 総括 ~

- ・当社の事業におきましては例年、第1四半期で完了する業務は非常に少なく、当四半期についてはほぼ毎年、赤字の状況。
- ・この時期は売上をあげて収益をさせぐ時期ではなく、案件を受注するための商談や提案活動期間となっており、本期も活発な提案活動が出来ました。

連結業績概況 ~セグメント別~

■ システムコンサルティング事業

- ・ 売上高は前期比で175.4%増収の175百万円。
- ・ 大型コンサルティング案件が増収をもたらしています。

■ システムインテグレーション事業

- ・ 売上高は前期比で70.5%増収の133百万円。
- ・ 従来からの売上の伸長に加え、コンサルティング事業における電子政府系案件から派生した開発案件が新たな売上として加わり、増収の要因となりました。

■ 放送・映像システム開発・製造・販売事業

- 大手メーカー向けOEM製品の出荷が8月からである事、またこのセグメントを担当する連結子会社2社が7月1日付で合併した事に伴う準備などもあり、売上高は前期比で29.6%減収の169百万円となりました。

■ 放送・映像システム保守事業

- 昨年12月に同業他社から事業譲渡を受けた効果もあり、売上高は前期比で67.3%増収の162百万円となりました。

フライトグループとは

事業セグメント



システムコンサルティング事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

映像・音楽等のデジタルコンテンツの管理や配信に関するコンサルティング、システム設計、開発、導入、保守。
官公庁様および自治体様向けのコンサルティング。

システムインテグレーション事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

一般企業様向けオープン系システムによる高可用性システムの受託開発。
官公庁様および自治体様向けのシステム設計、開発、導入、保守。

放送・映像機器等の開発、製造、販売



株式会社山下電子設計



エレテックス株式会社

2007年7月1日 合併

放送・映像システム開発・製造・販売事業



YEMエレテックス株式会社

放送機器の修理、保守

株式会社ワイ・イー・シー・リサーチ

2007年7月1日 社名変更

放送・映像システム保守事業



株式会社トライ・インジニアリング

会社・事業所 マップ



平成20年3月期
第1四半期
活動レビュー

平成20年3月期の経営方針

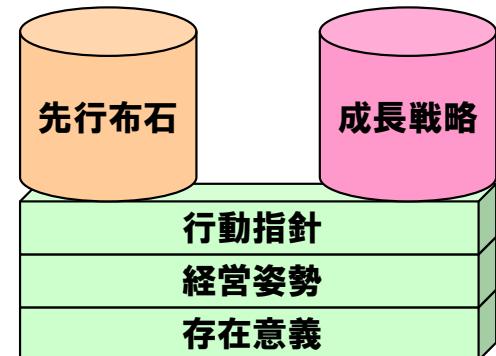
中長期にわたり継続的成長を実現するために

戦略的な先行布石



成長戦略の実行

今期は2006年1月に株式を取得した子会社3社が加わった連結経営の実質的な2期目になります。私たちは昨年の連結経営開始を「第二の創業」と位置づけ、グループとしての土台作りを強力に推進し、戦略的な先行布石を打ち、成長戦略を実行しております。



戦略的な先行布石 ~グループ再構築~

YEM
株式会社山下電子設計

スキャンコンバータ



JPEG2000製品 &
デジタルシネマの開発



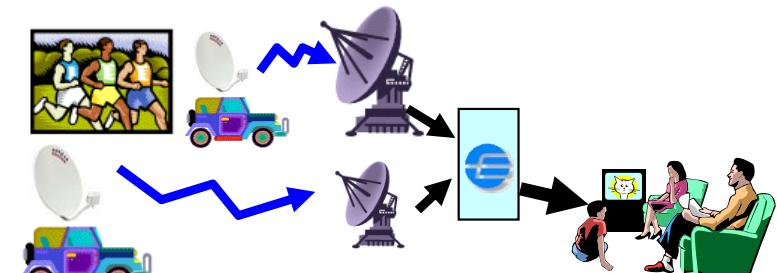
米国テレビ芸術科学アカデミー(The National Academy of Television Arts & Sciences)より、「デジタルHDTVアップコンバータの先駆的開発達成」に対して、2001年度「エミー賞」を受賞

2007年7月1日、日本の映像技術の粋を集めた新しい会社が誕生！



エレテックス株式会社

HD映像の二重化伝送



YEMエレテックス株式会社

戦略的な先行布石 ~社名変更~

- ・ 株式会社ワイ・イー・シー・リサーチは、昨年12月の他社からの事業譲渡をバネに、さらなる発展を期してまいります。
- ・ そして7月1日より、心機一転、社名も株式会社 ト拉斯ティ・エンジニアリングに変更しました。
- ・ 放送・映像機器の保守に加えて、さらにシステム系の保守への展開を図っています。



株式会社 ト拉斯ティ・エンジニアリング

誕生！

戦略的な先行布石 ～アストロデザイン様との協業強化～

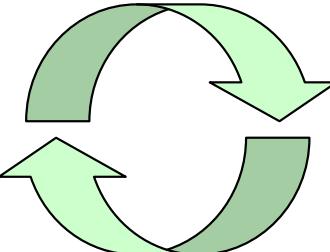


- 当社の創業初期からの株主であり、放送・映像機器大手メーカーであるアストロデザイン株式会社様に、本年4月、従来の5%だった出資比率を10%に引き上げていただき、約7,000万円の資金調達を実施致しました。
- これに伴い、同社の鈴木茂昭代表取締役社長に当社の社外取締役にご就任いただきました。
- 同社とのさらなる協業を目指します。

デジタルメディアに対するハード・ソフトが
融合した強力なテクノロジー集団が誕生！



ライトグループ



アストロデザイン株式会社

成長戦略

売上と利益の拡大

顧客価値
創造

効率経営

メディアソ
リューション

システムインテ
グレーション

資本の有効活用

Contents Management

Total Cluster

JPEG2000

Hommage

e-Japan

技術戦略

成長
の核

構造改革

成長領域への積極投資

成長戦略の実行 ～Ruby ビジネス・コモンズ の立ち上げ～

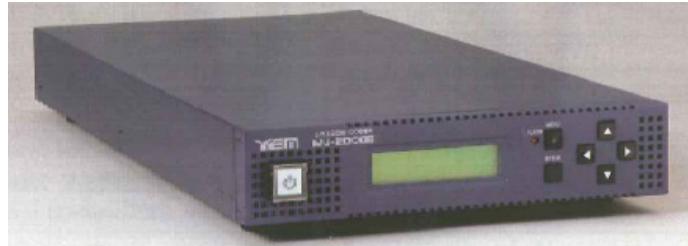


- ・ 永年に亘るJavaのノウハウを活用し、日本生まれの次世代プログラミング言語「Ruby」へ取組みを開始。
- ・ この新しいプログラミング言語を活用してビジネスを広げて行く業界団体「Ruby ビジネス・コモンズ」を本年7月31日に業界各社と創設。
- ・ このコンソーシアムの立ち上げは第1四半期の大きな成果です。

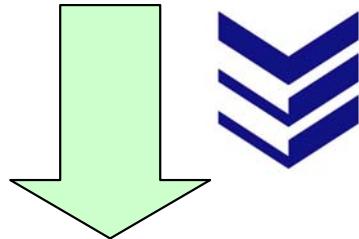


株式会社フライトシステムコンサルティング

成長戦略の実行 ～JPEG2000・デジタルシネマ技術を応用～



JPEG2000 & *Hommage*



YEMエレテックス株式会社

大手メーカー向け
OEM製品を開発

第2四半期より
出荷開始

この製品の開発は
第1四半期の大き
な成果です。

成長戦略の実行 ～e-Japan推進プロジェクトの遂行～



政令指定都市の情報システム再構築に関する5ヶ年に渡るプロジェクトマネージメントを受注。他の自治体へ向け、大きな実績。

その他....

千代田区役所様：

「統合事務管理システム」の運用保守を受託

宮城県様：

「工事管理システム」を開発！

サン・マイクロシステムズ様より千代田区役所様の成功事例が発表になっています。

<http://jp.sun.com/solutions/cstudy/200705chiyoda/>

平成20年3月期第1四半期 総括

- ・ 前期の第1四半期と比較し、飛躍的な売上の増加。
- ・ 子会社の再構築(経営統合、社名変更)を実施。
- ・ Javaの次世代のプログラミング言語「Ruby」への取り組み開始と業界団体「Ruby ビジネス・コモンズ」の立ち上げ。
- ・ e-Japanにおける政令指定都市からの5ヶ年プロジェクトの受注。
- ・ 株主であるアストロデザイン様からの増資による資金調達、ならびに協業強化。
- ・ 永年に渡って研究開発してきたJPEG2000及びデジタルシネマの技術をOEM製品へ応用。

今後の展開について

平成20年3月期 連結業績予想

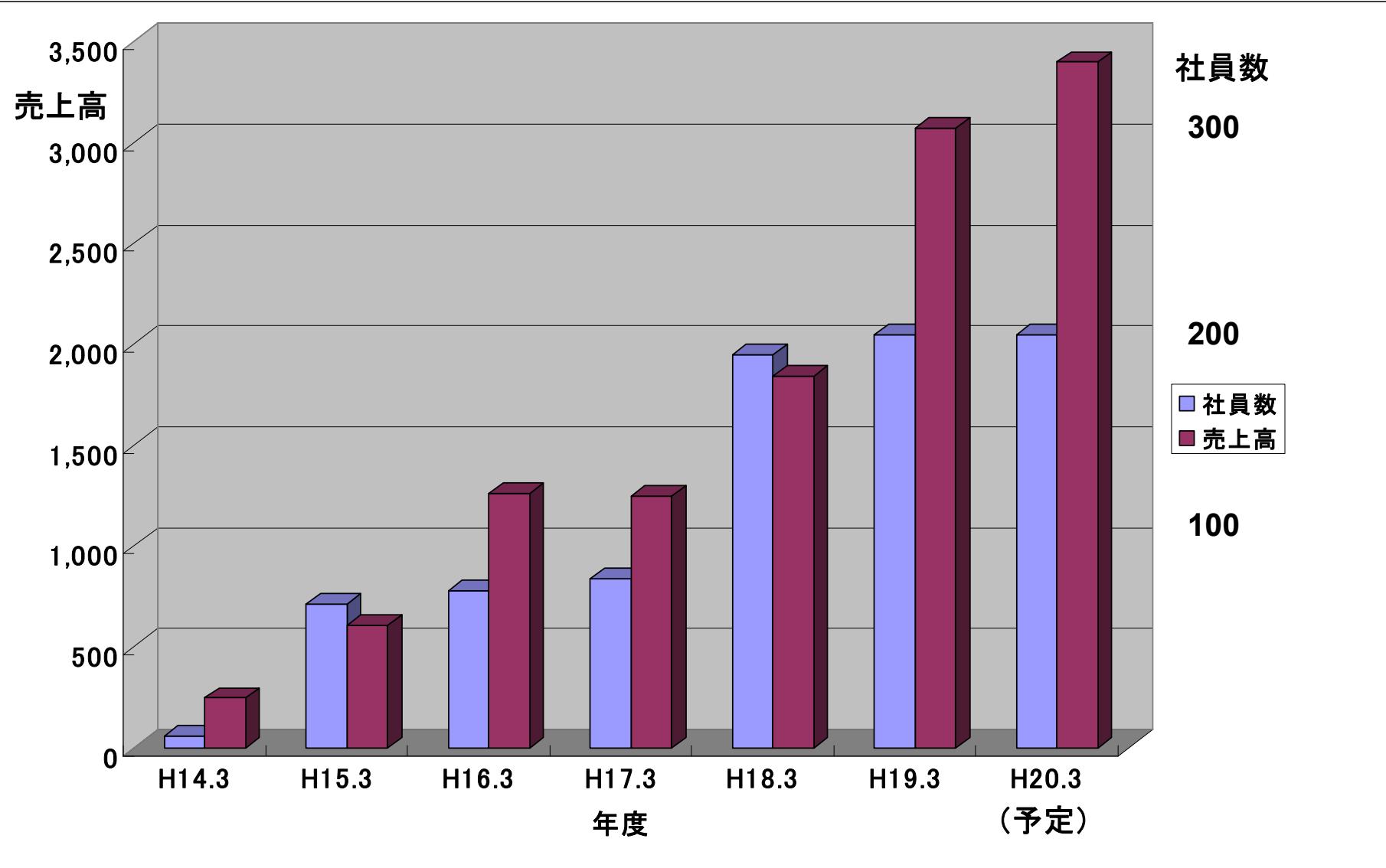
(単位:百万円)

	平成19年3月期 (実績)	平成20年3月期 (計画)	
		金額	前期比
売上高	3,071	3,400	329
営業利益	△57	70	127
経常利益	△96	40	136
当期純利益	△176	5	181

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

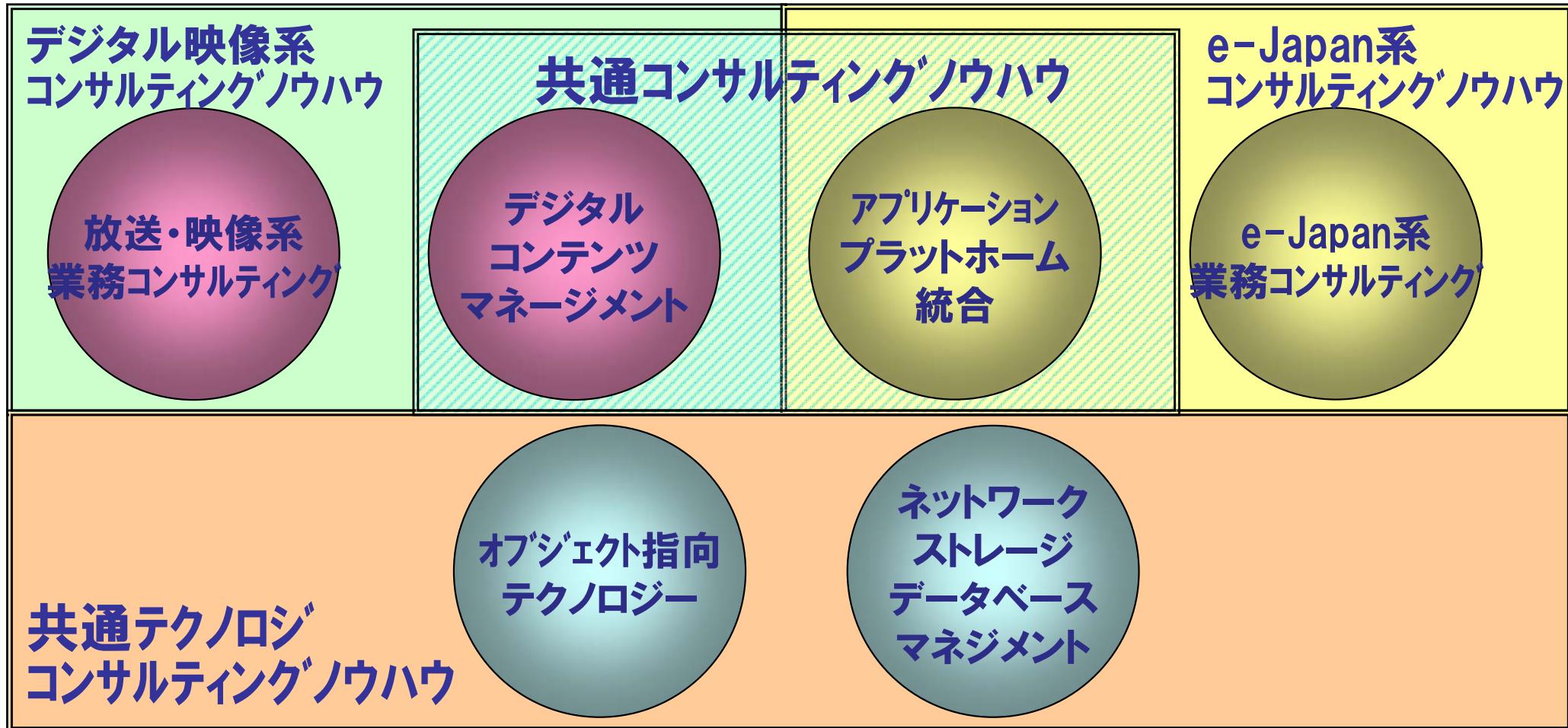
売上高と社員数の変遷

単位:
百万円



コンサルティングノウハウの共有

- ・ メディア系とe-Japan系、テクニカル系を組織統合しノウハウ共有
- ・ 対応可能な業種の領域が大きく拡大！



FLIGHT Total Cluster の拡販

～事例発表が続々と～



- ・デジタル放送を支えるサーバを止めないためのソリューション「FLIGHT Total Cluster」に関して、従来は当社コンサルタントが担当する顧客に限定して販売してまいりましたが、今期より外部のシステムインテグレータ企業様への販売を開始します。
- ・第一興商様、千代田区役所様での FLIGHT Total Cluster の活用による成功事例がサン・マイクロシステムズ様より発表になっています。

第一興商様

<http://jp.sun.com/solutions/cstudy/200706dkkaraoke/>

千代田区役所様

<http://jp.sun.com/solutions/cstudy/200705chiyoda/>

Total Cluster の拡販

～ MIJSとの連携 ～



- ・国内の有力ソフトウェアベンダーが結集し、製品の相互連携を行って海外展開および国内ビジネス基盤の強化を図ることを目的に設立された「メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム (Made in Japan Software Consortium : 以下、MIJS)」へ加盟し、参画しているパッケージソフトベンダー様と協業して販売する事により、さらなる拡販を目指します。

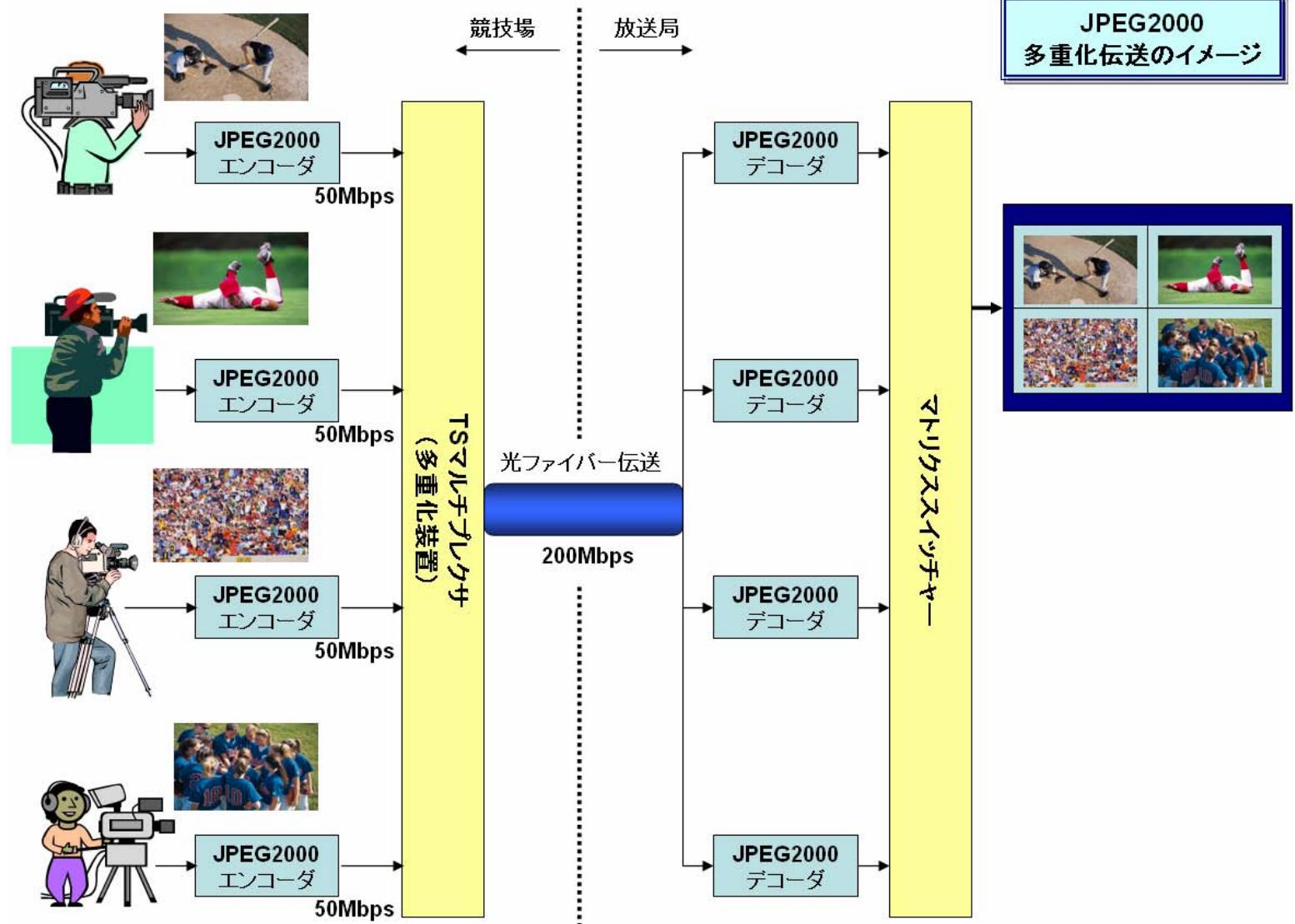


<http://www.mijs.jp/>

JPEG2000による映像多重化伝送



高品位な映像を
多重化して複数
伝送するニーズ
が高まっています。当社株主・
アストロデザイン
(株) 様の多重
化装置と組合わ
せ、新たな市場
を開拓します。



デジタルシネマ *Hommage* の展開



- 映画業界に造詣の深いアクティブ・シネ・クラブ様と協業し、各種映画の上映で利用中。
- 第21回福岡アジア映画祭2007に協賛。映画関係者、監督、プロデューサ等に訴求。
- 映画業界の慣行、商習慣、映画館の経営状況等のこの1年の分析結果を受け、この業種に特化したビジネススキームを業界各社と協業して検討して参ります。

デジタルシネマを
皆様の街へ！

2007年6月29日～
7月8日開催
第21回福岡アジア
映画祭に協賛



試写会で利用



1ヶ月間の上映で利用

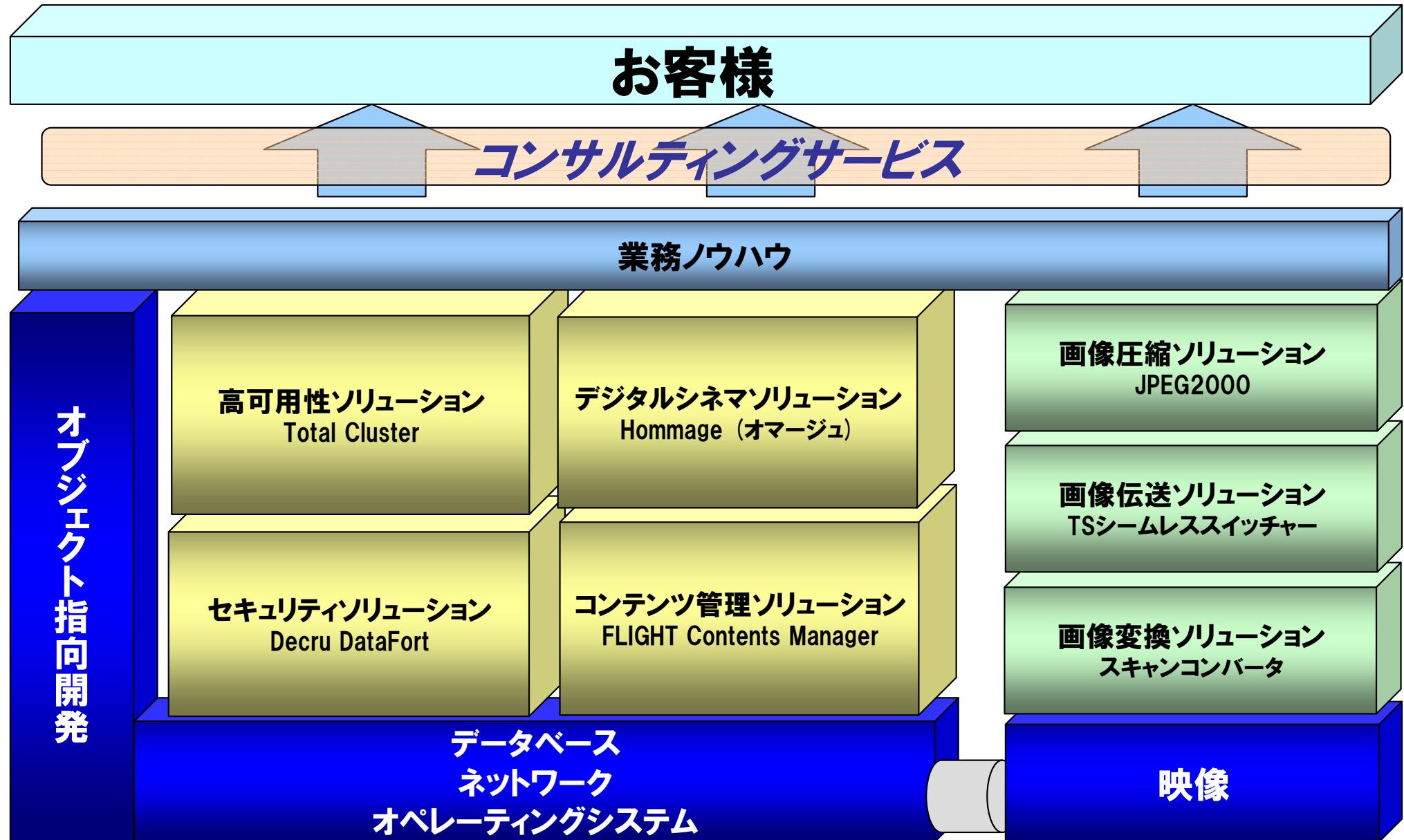


有利子負債削減による財務体質の改善



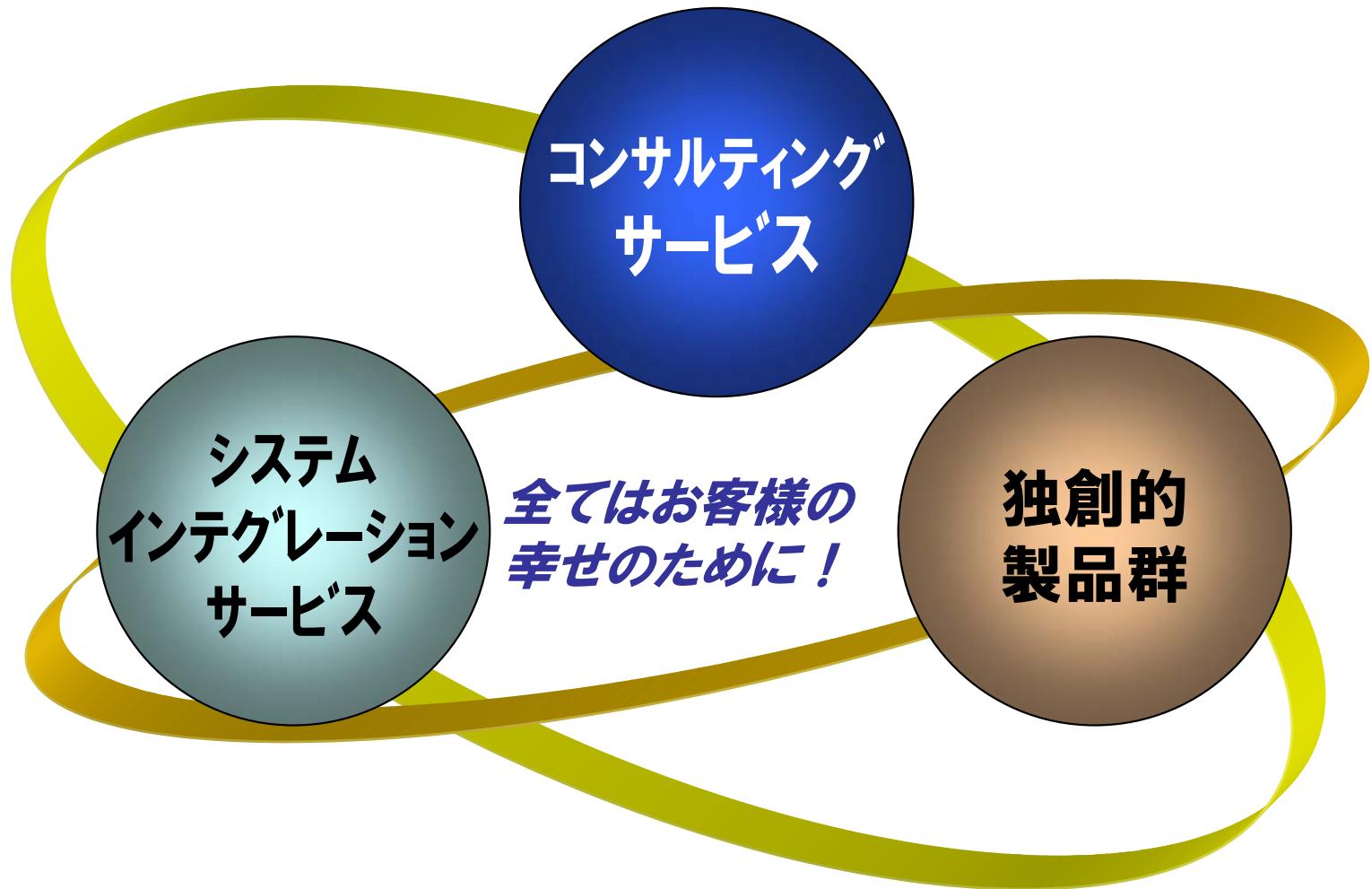
- 連結子会社、YEMエレテクス（株）の持つ大阪事業所（本社）及び厚木市内のアパートなどの土地・建物の売却を中心に、今期中に合計5億円の有利子負債削減を実現し、財務体質を改善していきます。
- 既に大阪事業所を3億円、厚木市内のアパートを4,000万円でそれぞれ売却の契約を締結致しました。まずこれにより3億円の有利子負債を削減します。
- なお、大阪事業所は売却後も賃貸をして引き続き使用してまいります。

-コア技術と独創的なソリューションをお客様へ-



総合力でお客様に幸せを！

テクノロジーカンパニーから
テクノロジーサービスカンパニーへ！



お問い合わせ

- **IRならびに本資料に関するお問い合わせ**
 - **IR責任者:** 取締役 松本 隆男
 - **IR担当者:** 金(こん) 浩樹
 - **E-Mail:** **info@flight.co.jp**
 - **電話:** **03-3440-6100**
 - **ホームページ:** **<http://www.flight.co.jp>**

本資料について

本資料は、平成20年3月期第1四半期決算の業績について情報提供することを目的としたものです。本資料は、平成19年8月15日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載した予測値や情報は、資料作成時点の当社の判断です。情報の正確性、完全性を保障するものではありません。また、今後予告なしに変更することがあります。